

家根合 魚の学習会



664回 ～魚を捕まえて学習しよう～

10月9日（金曜日）に、庄内町家根合の家根合揚水機場で庄内町立余目第一小学校4年生児童を対象に、魚の学習会が開催されました。

毎年、最上川土地改良区の協力により、家根合揚水機場の調整池の水を落として、地域に棲む魚の調査を行っています。



今年度、捕まえた魚は17種類。捕まえた魚は最上川土地改良区の方から解説をしてもらい、魚の学習をしました。

動きの速い魚も多かったが、児童たちは元気に魚を捕まえ、事務局でも数を数えられない程いっばいの魚を捕まえました。

引き続き、子供たちが「地域の自然を守りたい」という思いから始まった活動を応援していきます。

大鳥池（ダム）最終点検



665回 ～冬を迎えるために～

10月16日（金曜日）に、大鳥池（ダム）の最終点検が行われました。

大鳥池は、巨大魚タキタロウで有名ですが、農業用水を貯水するため池として整備されており、渇水により赤川の流量が不足した際に下流域の水田11,000haを潤す「最後の頼み水」としての大きな役割を担っています。

今回の最終点検では、降雪前の施設点検として、登山道にもなっている堰堤の手すりの撤去と、格納庫の雪囲いを行いました。

大鳥池周辺は冬になると約3メートルを越える積雪があり、早くて11月には雪が降り始めるため、葉が赤色に染まり始めたこの時期に冬支度をします。



国営「最上川下流左岸地区」現場研修会



666回 ～排水機場の基礎形式を学ぶ～

10月30日（金曜日）に、東北農政局最上川下流左岸水利事業所の職員から講師をしていただき、国営「最上川下流左岸地区」現場研修会を開催しました。

山形県内の若手NN職員を中心に25名が参加した研修会では、国営事業の概要等について説明いただいた後、工事実施中の毒蛇排水機場と中央排水機場へ赴き、現場を見学しました。

両排水機場の地盤が軟弱であることから、それぞれの基礎形式に違いがあることなどを学ぶことができ、職員の技術力向上に繋がりました。



越沢新そばまつり



667回 ～新そばの季節です～

10月31日（土曜日）、11月1日（日曜日）の2日間、鶴岡市の越沢自治会が運営する「まやのやかた」において、『越沢新そばまつり』が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、山形県民のみの人数を絞った完全予約制や、来場者の30分毎の入れ替えにより密回避をするなどして開催されましたが、在来作物「越沢三角そば」を求めたお客さんで、事前予約が完売する程の人気でした。



越沢集落を少し登ったところには、やまがたの棚田20選に選定されている「越沢の棚田」が広がっており、近くにはこうこうと湧き出る名水「郷清水」が地域の水田だけでなく、訪れる人の心と体を癒しています。

越沢の棚田カードは、まやのやかたで配布しています。

[県内の棚田カード配布先一覧](#)

最上川右岸導水幹線トンネル点検



668回 ～安定した用水を供給するために～

11月13日（金曜日）に、大町満土地改良区が実施している最上川右岸導水幹線トンネルの内部点検に同行しました。

この点検では、最上郡戸沢村草薙（くさなぎ）にある草薙頭首工から、酒田市成興野にある上郷揚水機場まで繋がるトンネル、約5.2キロ区間の劣化状況等の調査を行いました。



完成から50年以上経過したトンネルは、ところどころで亀裂や空洞が見られましたが、こうした点検により適正に管理され、安定した用水を供給しています。

産業経済部第1回安全パトロール



669回 ～安全な作業現場へ～

11月18日（水曜日）に、工事現場の労働災害の未然防止と工事の安全管理を図ることを目的に、庄内総合支庁産業経済部が発注した工事現場を対象とした安全パトロールが開催されました。



このパトロールでは、現場事務所や工事現場で危険な状況がないかを確認し、さらには良い部分があれば他の現場でも真似できるように、職員が現場を見て回りました。

発注者、受注者共に、労働災害の防止に向け、安全な作業現場が必要であることを改めて再認識することができました。

冬の庄内をお届けします1



第670回 ～田んぼと北楯大堰～

12月14日（月曜日）、今シーズン初めて雪がたくさん降りました。

庄内地域の冬景色をお届けします。

雪がサツとかった庄内町の田んぼです。

寒さに耐えながらエサを食べる白鳥の姿がちらほら見られます。



平成30年に山形県内で初めて世界かんがい施設遺産に登録された、庄内町の「北楯大堰」です。

山形県が発刊している情報誌、農楽里vol.34（2019秋号）では、水路沿いを歩いた記事が紹介されていますので、ぜひご覧ください。

[やまがたの農山漁村づくり情報マガジン「農楽里（norari）」](#)

足元に気を付けながら、冬の散歩コースにもいかがでしょうか？



冬の庄内をお届けします2



第671回 ～大山上池・下池～

気温が高まり、先日積もった雪が溶けだした12月23日（水曜日）に、鶴岡市大山にある大小2つの農業用ため池「大山上池・下池」に行きました。

両池は、コハクチョウやマガモをはじめとする多くの渡り鳥が越冬することで有名で、本日もたくさんの渡り鳥が羽根を休める姿が見られました。

（大山上池）



（大山下池）



山形県が発刊している農山漁村づくり情報マガジン『農楽里vol.32』（2019春号）でも、大山上池・下池の記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

[やまがたの農山漁村づくり情報マガジン「農楽里（norari）」](#)

冬の庄内をお届けします3



第672回 ～たらのき代の棚田～

新年明けましておめでとうございます。

今年も、N.N.REIKOとして庄内の農業農村整備の「旬」情報をお届けしますので、よろしくお願いします。

さて、庄内地域でさらに雪が積もった令和3年1月5日（火曜日）に、鶴岡市たらのき代の棚田へ行きました。

この棚田は「やまがたの棚田20選」に認定されており、庄内平野を見渡すことのできる最高のロケーションです。天気が良ければ、烏海山を背景に美しい棚田を楽しむことができます。

さらにこの棚田は、たらのき代スキー場へと続く県道の両側に広がっています。スキー場へ行く際は、両手に広がる見事な棚田の雪化粧姿をぜひご覧ください。



[やまがたの棚田20選](#)

鳥海山の種まき爺さん



第673回 ～春の訪れを待つ～

今年の立春は、124年ぶりに2月3日となります。

春の始まりともされる立春の2日前、天気が良かったので鳥海山を撮影しました。



うっすらと種まき爺さんの影が見えます。

鳥海山の種まき爺さんは、田植えの時期にくっきりとその姿を見せ、庄内の春を告げる雪形として知られています。

今後も観察を続けていきますのでぜひご覧ください。

『農楽里norari』 vol.39配信



第674回 ～2021冬号 配信しています～

元気な農山漁村をつくっていききたい。農山漁村の自然や景観の保全活動に関わりたい。

農楽里(norari)は、農山漁村づくりに関心のある方、参加してみたい方、すでに参加している方を対象に、県内各地の地域情報を発信し、新たなコミュニケーションの場づくりを提供する職員手作りの情報誌です。

【最新号】vol.39 2021年冬号は、山形県HPで配信されており、ご覧になることができます。

[やまがたの農山漁村づくり情報マガジン「農楽里\(norari\)」](#)



今回の特集は、「災害にみんなで備える」

農村地域における防災対策の取組みについて特集しています。

庄内からは、地すべり防止区域である鶴岡市七五三掛地区の取組と、水土里ウォークとして遊佐町の丸池様を掲載しています。

災害の備えとして、ご自身が住んでいる地域を良く知ることは身を守ることに繋がります。

さみだれ大堰現地研修会



第675回 ～大規模施設を学ぶ～

2月9日（火曜日）に、国土交通省酒田河川国道事務所河川管理課の職員から講師をしていただき、さみだれ大堰現地研修会を開催しました。

庄内総合支庁農村計画課・農村整備課の職員計13名が参加し、さみだれ大堰の施設概要説明や施設内見学その他、現在実施されている1号ゲート更新工事について現場で説明をいただきました。

河床の安定を図ること、農業用水を確保することを目的に設置された国内最大規模のゴム堰を学ぶことができ、職員の技術力向上に繋がりました。



令和2年度退職者の技術伝承研修会



第676回 ～技術を繋ぐ～

3月2日（火曜日）に、庄内総合支庁において令和2年度退職者の技術伝承研修会が開催されました。

これは、今年度退職を予定されている農村計画課・農村整備課の職員からこれまでの経験や苦勞、仕事において大切なことやアドバイスを頂き、後輩職員へ技術を繋ぐために開催したものです。庄内総合支庁農村計画課・農村整備課の職員合わせて45名が参加しました。

3名ともお話の中で共通する部分は多く、職員間のチームワークや相談を大事に仕事をしてきたことが分かりました。



鳥海山の種まき爺さん2



第677回 ～春の訪れを待つ～

第673回で紹介した、鳥海山の種まき爺さんの現在の状況をお知らせします。

前回の更新から1か月経過しましたが、鳥海山の雪解けはあまり変わっていない状況のようでした。

[第673回](#) [2021年2月1日](#) [鳥海山の種まき爺さん](#)



庄内の春の訪れを告げる種まき爺さんの雪形もあまり変わっていません。

この頃晴れが続き、気温も高くなっているのでだんだんと雪解けが進んでいくかもしれません。

今後も観察を続けていきますのでぜひご覧ください。

地すべり防止区域融雪状況調査



第678回 ～雪による影響を調査～

令和3年3月12日（金曜日）に、県が管理する農地地すべり防止区域の調査を実施しました。

この調査は、冬期間の降雪により雪崩や崩落などが起きていないか確認するもので、毎年融雪が進む3月頃に実施しています。

今回は6か所の区域を調査し、異常は見られませんでした。どの区域も融雪が進んでおり、春が近づいている様子が確認できました。



（天狗森 地区）



（鬼坂峠 地区）

県営工事完成検査



第679回 ～年度末の近づきを感じます～

年度末が近づき、県営工事の完成検査が盛んに行われておりますので、その様子を紹介します。

今年度は大雨の影響もありましたが、受注者、発注者が協力し工事が終えられ、より良い田んぼ、より良い農業用施設へと整備されています。



春を告げる旬の植物



第680回 ～2年間お世話になりました～

あっという間の1年。

気がつけば、花が開いたふきのとうや、背丈が伸びたつくしが見られる季節となりました。



普段、足を止めてまじまじと見ることの少ないふきのとうやつくしですが、春の訪れを感じさせる春の旬です。

これまでの2年間、N.N.REIKO4代目として農業農村整備の旬をお届けしてきましたが、いかがでしたでしょうか。

今年度末をもって4代目は終了となります。

引き続きN.N.REIKOをよろしくお願いいたします。